

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	電気チェンソー 250mm SCS-250AC	お買い上げ日	保証期間
	電気チェンソー 300mm SCS-300AC	年 月 日	1年
お客様	ご住所	〒	
	ご芳名		
	電話		
販売	住所 店名		

※上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認下さい。

1、保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
- (二) 本書のご提示がない場合。
- (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えた場合。

2、本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には当社までご相談下さい。

3、本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存して下さい。

4、本書は日本国内においてのみ有効です。

発売元



情報サービスセンター：〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1

Tel.0794-86-8200(代) Fax.0794-83-5160

近畿支店：〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1

Tel.0794-86-8210(代) Fax.0794-83-5160

中部支店：〒473-0902 愛知県豊田市大林町17丁目7-16

Tel.0565-25-2227(代) Fax.0565-25-2239

九州支店：〒841-0056 佐賀県鳥栖市蔵上1丁目220

Tel.0942-81-2307(代) Fax.0942-81-2308

鹿児島営業所：〒890-0073 鹿児島県鹿児島市宇宿2丁目22 Bayside marina 101号 Tel.099-285-1748(代)

広島営業所：〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本1丁目25-11 Tel.082-875-7211(代) Fax.082-850-0311

東京支店：〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目19-9

Tel.048-268-3939(代) Fax.048-268-9191

熊谷営業所：〒360-0216 埼玉県熊谷市西野68-1

Tel.048-577-3292(代) Fax.048-577-3275

札幌営業所：〒003-0021 北海道札幌市白石区栄通15丁目8番36号 Tel.011-374-5528(代) Fax.011-374-5529

仙台営業所：〒984-0038 宮城県仙台市若林区伊在2丁目15番地の1 Tel.022-287-5739(代) Fax.022-287-5766

神奈川営業所：〒243-0206 神奈川県厚木市下川入867-1 アロードリーム1階 Tel.046-265-0365(代) Fax.046-265-0022

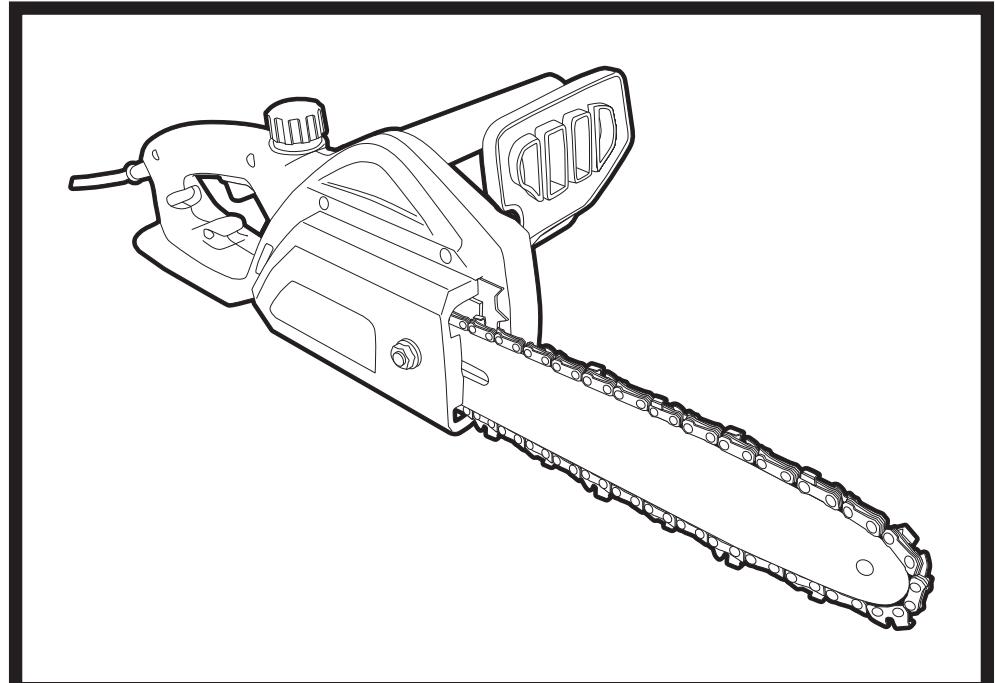
金沢営業所：〒921-8066 石川県金沢市矢木三丁目256 Tel.076-240-3630(代) Fax.076-240-3515



取扱説明書

電気チェンソー SCS-250AC 250mm

SCS-300AC 300mm



このたびはSK11電気チェンソーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用に際しましては必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになったあとは必ず保存してください。

仕 様

品番	SCS-250AC	SCS-300AC
電源		100V 50/60Hz
電流		8.8A
消費電力		800W
ガイドバー長さ	300mm	350mm
最大切断長さ	250mm	300mm
チェーン速度	9.8m/秒(588m/分)	
チェーンピッチ		3/8インチ
チェーンリンク数	40	45
チェーンゲージ		0.05インチ
チェーンタイプ：オレゴン	91PX040X	91PX045X
オイル容量		82ml
オイル消費量		3.5ml/分
電源コード長		5m
本体寸法(長さ×幅×高さ)	600 × 225 × 163mm	645 × 225 × 163mm
本体質量 ※コード、オイル含む	3.4kg	3.5kg
騒音レベル		88dB
絶縁方式		二重絶縁構造
定格使用時間		30分

※改良のため、上記仕様は予告なく変更することがございます。予めご了承ください。

目 次

●仕様	2
●電動工具安全上のご注意	4~6
安全確保のために	4
警告表示・注意表示について	4
絵表示について	4
●電気チェンソーご使用上のご注意	7~9
使用電源に関して	7
切削作業に関して	7
チェンソーの反発力に関して	8~9
●製品について	10
使用用途	10
各部の名称	10
標準付属品	10
●使い方	11~17
ソーチェーンの調整	11
ソーチェーン・ガイドバーの組み立て、交換方法	12~13
チェーンオイルについて	14
スイッチ操作方法	14
切削作業	15~17
●保守・点検	18~21
ソーチェーンのメンテナンス	18~19
ガイドバーの清掃	19
オイル給油口の清掃	20
ドライブスプロケットの交換	20
保管方法	21
●故障と修理	21
●分解図・部品表	22~23
●保証書	24

電動工具安全上のご注意

△警告 安全確保のために

- 安全に正しくご使用いただくために、すべての取扱説明書をよくお読みいただき、安全にお使いください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」のすべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いなる方がいつでも見ることができると所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示・注意表示について

●表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる被害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

△警告 この表示の欄は、「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

△注意 この表示の欄は、「使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容です。「△注意」に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 この表示の欄は、製品の据付、操作、メンテナンスに関する重要な注意事項です。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

絵表示について

●お守りいただく内容の種類を、以下の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。
 禁止
 分解禁止
 水ぬれ禁止

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。
 電源プラグを抜く
 よく読む
 点検・確認
 保護メガネ着用
 防じんマスク着用
 防音保護着用

この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。
 感電注意
 高温注意
 指に注意
 回転部注意
 火災注意

△警告

■作業場について

作業場はいつもきれいに明るく保ってください。
●ちらかった場所や作業台は事故の原因となります。
●作業場は十分に明るくしてください。暗い場所や作業台は事故の原因となります。

作業場の周囲状況も考慮してください。
●爆発を誘発することができる可燃性の液体、ガスや粉じんのある所では使用しないでください。電動工具はこれらを発火させることがある火花を発生します。
●電動工具使用中は、作業者以外、特に子供を近づけないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。また、作業者以外、電動工具やコードに触れないでください。
 火災注意

騒音防止規制について
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定められた規制があります。ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

■電気に関する安全事項

電源は正しく接続してください。感電の危険が低減されます。
●電源コンセントは電源プラグに合致するものを使用してください。
●電源プラグは改造しないでください。
●アダプタープラグを併用する場合は、正しく接地（アース）してください。

感電に注意してください。
●電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
●電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。



- コードを乱暴に扱わないでください。感電の危険が増大します。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがったところや動くものに近づけないでください。
- 重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。



- 屋外使用に合った延長コードを使用してください。感電の危険が低減されます。
- 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。



- アース機構（アースクリップ、アース端子ねじ等）を有する電動工具は、必ず接地（アース）してください。
- 接地をしないと故障や漏電の時、感電する原因になります。
- 接地は、プラグの横から出ているアースクリップや本体のアース端子ねじにアース線を接続してください。
- テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アース端子ねじと工具本体の金属外郭部間の導通を確認してください。



- アース棒やアース板を地中に埋め込みアース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄の電気工事店に相談してください。
- 接地と共に感電防止用漏電遮断器の設置された電源に、接続されますことをお勧めします。
- 漏電遮断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。



- アース線をガス管に接続しないでください。
- 爆発のおそれがあります。
- アース機器を有する電動工具に延長コードを使用する時は、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
- アース線のない2芯コードの使用は、感電の原因になります。



- このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですので接地（アース）する必要はありません。

■人的安全性



- 油断しないで十分注意して作業を行ってください。一瞬の不注意で深刻な人的障害をもたらすことがあります。
- 電動工具を使用する場合は、自分が何をしているか、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況などを十分注意して、常識をはたらかせて慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールや薬を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。



- 安全保護具を使用してください。
- 作業時は保護メガネを着用してください。
- 粉じんの多い作業では防じんマスクを着用してください。
- 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- また、必要に応じて、滑り防止安全靴、ヘルメットなど必要な安全保護具を使用してください。



- 不用意な始動は避けてください。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- スイッチがオンになった電動工具のプラグを差し込むと、不意に回りだすので危険です。



- 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。人の傷害をもたらすおそれがあります。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。



- 材料を加工する工具では、加工する材料をしっかりと固定してください。
- 加工する材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（加工する材料を動かす製品は除く）



- 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。



- きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 髪、服及び手袋などを回転部に近づけないでください。
 回転部注意



- 集じん装置が接続できるものは接続してください。粉じんを減少させることができます。
- 集じん装置が接続できる場合は、装置を確実に接続し、正しく使用してください。

■工具の使用と手入れ



無理して使用しないでください。

- 用途に合った正しい電動工具を使用してください。異なる用途に無理に使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。



- スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。危険ですので、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- 可動部分などの位置調整を行う場合。
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- 使用しない、または修理する場合。
- その他危険が予想される場合。



使用しない場合は、きちんと保管してください。子供や不慣れな者が使用すると危険です。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または錠のかかる所に保管してください。



損傷した部品がないか点検してください。整備不良は事故の原因になります。

- 使用前に、安全カバーなどの他の部品に損傷が無いか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 破損した安全カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 握り部は、常に乾かしてきつい状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。



正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- 取扱説明書及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やケガの原因となる恐れがありますので使用しないでください。



使用環境温度について

- 25°Cでの使用を前提としています。なお、時折35°Cになることも想定しています。

■整備・修理



電動工具の修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。

- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やケガの原因となります。修理は、お買い求めの販売店にお申し付けください。
- 電源コードが破損した場合、交換には専門知識が必要ですので、販売店にお申し付けください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので、改造しないでください。

■延長コードについて



延長コードは損傷のないものを用意してください。

●電源の位置が離れていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

●表は、使用できる継ぎコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示しています。

コードの太さ	コードの最大長さ
1.25mm ²	10m
2.0mm ²	15m

●延長コードは本機のコードと同じ被覆を施したコードを利用してください。

電気チェンソーご使用上のご注意

先に電動工具を安全にお使いいただくための重要事項について述べましたが、電気チェンソーをご使用の際には、さらに述べる「警告・注意事項」を守ってください。



■使用電源に関して



使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。

- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、ケガの原因になります。

■切断作業に関して



チェンソーは十分に明るさのある場所で使用し、常に切断物が見えるような状態で使用してください。

- 切断物が見えにくい状態で使用されますと、事故の原因になります。



常にチェンソーハンドル左側に立って、作業を行ってください。

- 切りばずなどが、ガイドバー部分から飛んでくる恐れがあります。



枝や木の破片など、チェンソーに巻き込まれたり、巻き上げられる恐れがあるような物は、切削経路上から取り除いておいてください。

- 障害物を取り除かずに作業をされますと、事故の原因になります。



チェンソーは必ず、両手で保持・操作してください。

- 片手で使用されますと、事故、ケガの原因になります。



梯子や脚立、木の上に立った状態でチェンソーを使用しないでください。

- 事故、ケガの原因になります。



肩より高い位置で作業をしないでください。

- 事故、ケガの原因になります。



チェンソーを始動させる前に、ソーチェーンが材料や他のものに当たっていないことを確認してください。

- ソーチェーンが物に当たったままの状態で作動させますと、事故やケガの原因になります。



チェンソーは、機体の重さを利用して切斷してください。無理に押し付けて切らないでください。

- 安全で能率のよい作業をするために、切削速度に合わせて適度な荷重を心がけてください。

- 特に切り終わり直前に、無理にチェンソーを切断物に押し付けますと切削終了直後にバランスを崩す恐れがあり、大変危険です。



作動させたまま、台や床などに放置しないでください。

- 異常があるとケガの原因になります。



チェンソーを移動させる場合は必ず、チェンソーを停止させた状態で行ってください。

- 移動の際は、チェンソーを停止させてフロントハンドルを持って、スイッチに指がかからないようにしてください。

- ソーチェーンカバーを取り付けて、ガイドバーおよびソーチェーンを後方に向けてください。



プラスチックや石材、木材でない建築部材など、木材以外の材料の切断には絶対に使用しないでください。

- 事故、ケガの原因になります。



スイッチを離した際は必ずソーチェーンが完全に停止したことを確認してください。

- 確認を怠りますと、事故、ケガの原因になります。



オイルタンクキャップは失くさないように注意してください。

- オイルタンクキャップはしっかりと締め付けた状態でご使用ください。



【事業者の方へ】

樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行う場合は、法・規則で定める特別教育を受けた人に実行してください。

【関連法令】

労働安全衛生法	第59条第3項
安全衛生特別教育規程	第10条の2
労働安全衛生規則	第36条第8号および第8号の2

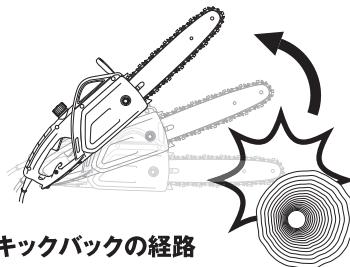
チェンソーの反発力について

回転中のチェンソーが、障害物や異物に当たったり、切断中の木に挟まれることで突然停止しますと、瞬間に反発力が生じます。この反発力により、チェンソーのコントロールが不安定になり危険な状態になることがあります。反発力によって引き起こされる現象、原因を十分にご理解のうえ、正しく作業し危険な状態を回避するようにしてください。

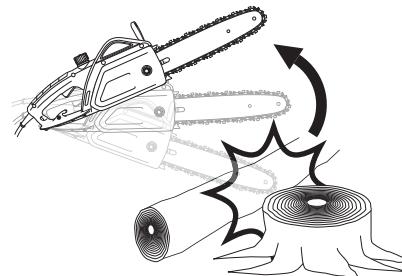
■反発力によって起こる現象の種類

1. キックバック

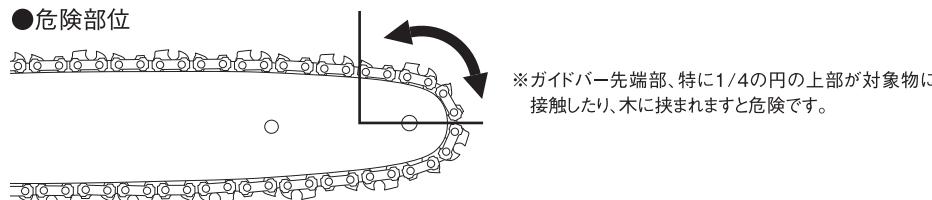
キックバックは、ガイドバーの先端部付近で、ソーチェーンが丸太や枝に接触したり、切断途中に木に挟まれることにより突然停止し、ガイドバーが作業者に向かって飛び跳ねてくる現象です。



キックバックの経路

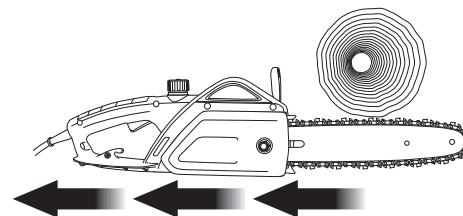


● 危険部位



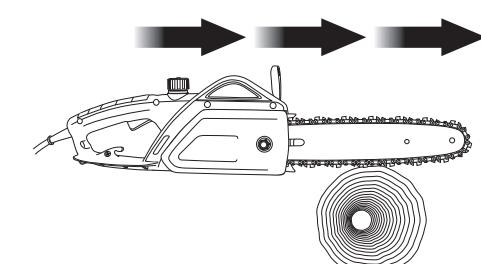
2. プッシュバック

プッシュバックは、ガイドバー上側部分で、ソーチェーンが木に挟まれたり、他の物体に当たることで突然停止し、反発力によりチェンソーが作業者に向かって飛んでくる現象です。



3. プルイン

プルインは、ガイドバー下側部分で、ソーチェーンが木に挟まれたり、木の中の異物に当たることで突然停止し、反発力によりチェンソーが引き込まれる現象です。



■キックバックの防止策

1. キックバックは起こるものだと認識してください。キックバック現象を理解することで、発生時にも冷静に対処し、危険な状態を回避できます。
2. ガイドバーの先端部分で、回転中のソーチェーンを他の異物・障害物に接触させないでください。
3. 作業場から、切削作業中にソーチェーンが触れる恐れのある一切の障害物を取り除いてください。(他の材木、枝、切り株、岩、フェンス、ワイヤーなど)
4. 枝を切断する際は、ガイドバーを切断する枝以外の枝や異物に接触させないでください。
5. ソーチェーンの切れ味は鋭利な状態で使用し、張力も適正にしてください。切れ味の落ちたまたは、張力のゆるいソーチェーンでは、キックバックの発生率が高くなります。張力は定期的に確認してください。
6. 切削作業は常に、全回転で行ってください。
7. 途中まで切削した木を再度切削する際は、特に注意してください。
8. チェンソーは、親指と4本の指でハンドルを包み込むように、両手でしっかりと保持してください。利き手にかかわらずリアハンドルは右手、フロントハンドルを左手で保持してください。
9. 体重を両足に均等にかけて立ってください。
10. 切断口に対して左側に立ってください。
11. 両腕を伸ばして、やっと届くような木は切らないでください。
12. 背伸びをしたり、肩より高い位置で切らないでください。

■プッシュバックの防止策

1. ガイドバー上側部分を挟んだり、ソーチェーンを停止させる恐れのあるような状況や異物に意識を向けてください。
2. 一回の切削につき、木一本としてください。
3. 木の下側を切削する際に、チェンソーを後方へ引き出す時、ガイドバーをひねらないでください。
4. 切削作業は常に、全回転で行ってください。

■プルインの防止策

1. 必ず全回転で切り始めてください。
2. 一回の切削につき、木一本としてください。
3. スパイクをしっかりと木に当てて切削してください。

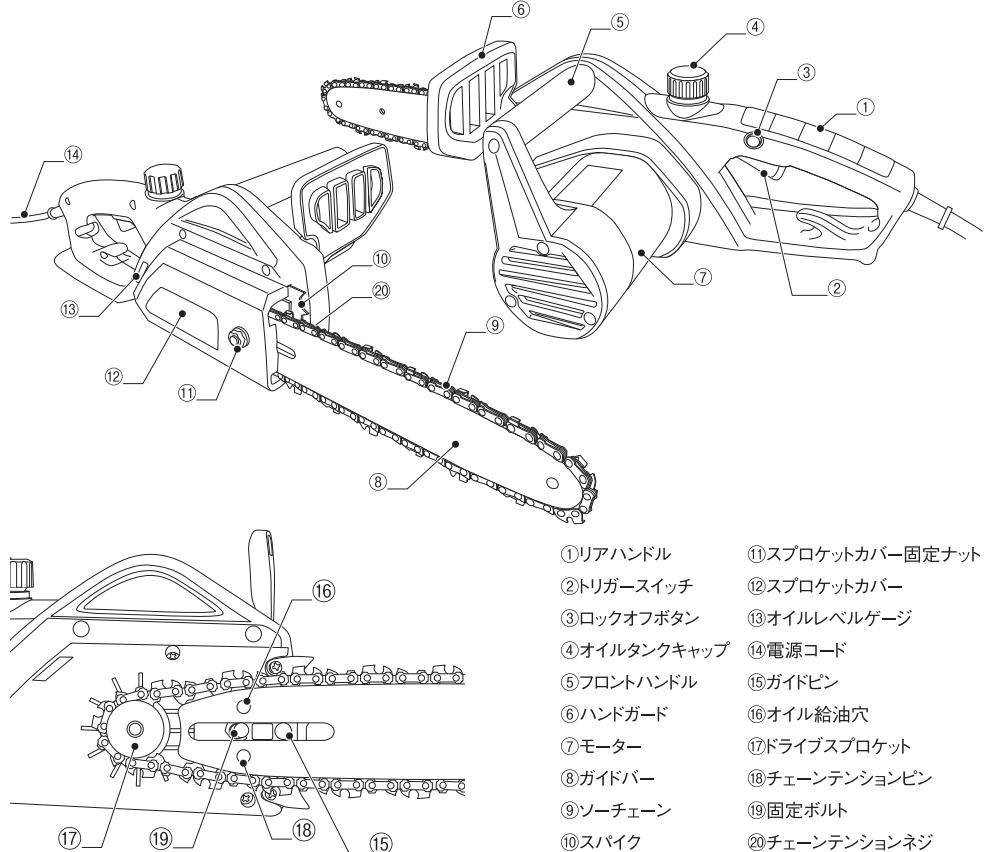
製品について

使用用途

●木質材料の切断：木、木の幹、枝、角材、板材など

※石質材、プラスチック、炭、木質系以外の建築材など、木材以外の切断はできません。

各部の名称



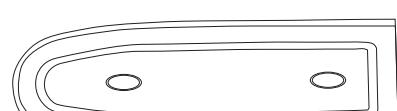
標準付属品



●13mm六角レンチ+マイナスドライバー



●チェンソーオイル(約80ml)



●ソーチェーンカバー

使い方

ソーチェーンの調整

⚠️警告

ソーチェーンの調整の際は必ずスイッチをオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●電源に接続したまま作業をされますと、事故の原因になります。

⚠️注意

ソーチェーンで手を傷つけないよう、作業の際は必ず手袋を着用してください。

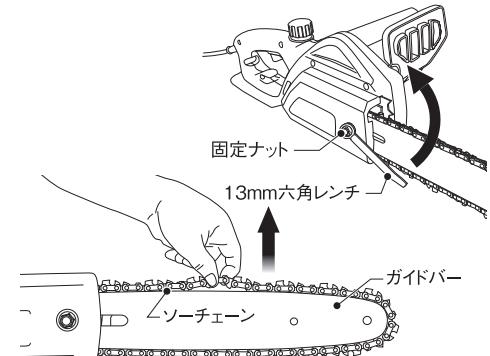
●ケガの原因になります。

⚠️注意

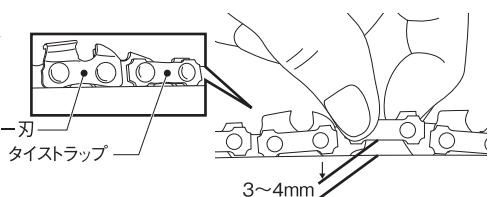
作業直後など、ソーチェーンが熱くなっている時は張りの調整はしないでください。

●ソーチェーンは冷えると収縮し、張りが強くなることがあります。

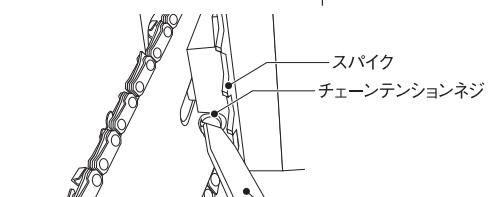
1.スプロケットカバーの固定ナットを少しゆるめてください。



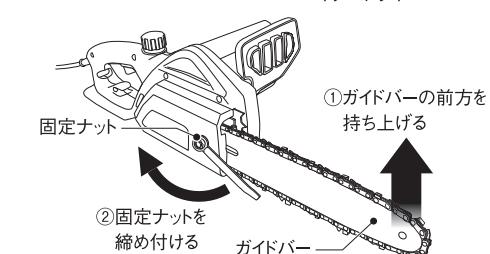
2.ガイドバー中央付近で、ソーチェーンをつまみ、ガイドバーとチェンソー本体を少し持ち上げてください。



3.ソーチェーンのタイストラップまたはカッター刃の底面と、ガイドバーとの間に3~4mmの隙間があれば、正しい張力です。



4.隙間の調整はチェンソー本体前方のチェーンテンションネジを回して行います。(隙間が多い場合は時計回り、隙間が少ない場合は反時計回りにネジを回してください。)



5.ガイドバー先端部を持ち上げた状態で、固定ナットをしっかりと締め付けてください。

※調整直後(特に最初の30分間)は、作業中に何度も張りを確認してください。

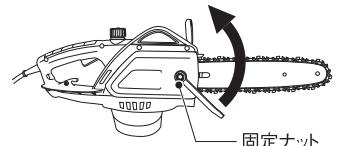
ソーチェーン・ガイドバーの組み立て、交換方法

△警告 ソーチェーンの取付・取り外しの際は必ずスイッチをオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
●電源に接続したまま作業をされると、事故の原因になります。

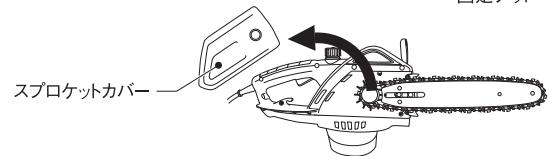
△注意 ソーチェーンで手を傷つけないよう、作業の際は必ず手袋を着用してください。
●ケガの原因になります。

■ソーチェーン、ガイドバーの取り外し

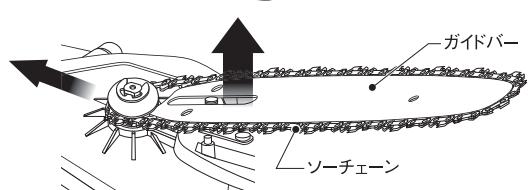
1. チェンソー本体を平らな場所へ置いてください。



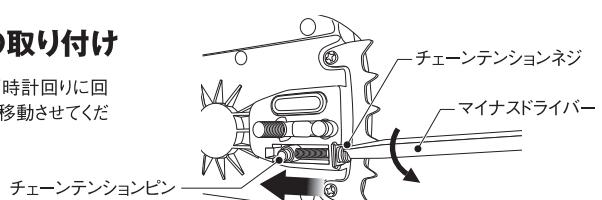
2. スプロケットカバーの固定ナット(13mm)を反時計回りに回してゆるめて取り外してください。



3. スプロケットカバーを取り外してください。

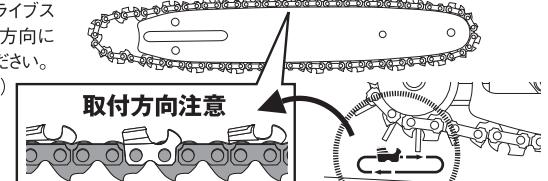


4. ガイドバーとソーチェーンを持ち上げて取り外してください。



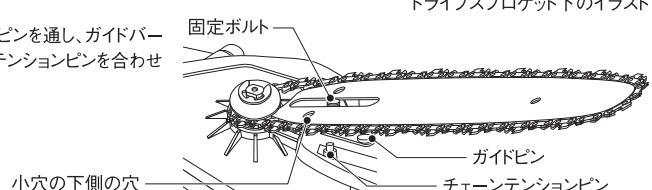
■ソーチェーン、ガイドバーの取り付け

1. チェーンテンションネジをマイナスドライバーで反時計回りに回して、チェーンテンションピンができるだけ左側へ移動させてください。

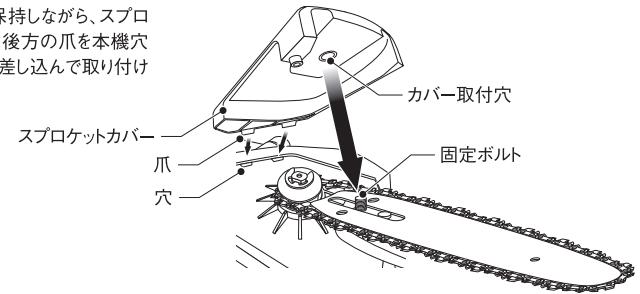


2. ソーチェーンをガイドバー先端部とチェンソー本体のドライブスプロケットに取り付けてください。ソーチェーンは、取付方向に注意して、ガイドバー外周へソーチェーンを取り付けてください。(ドライブスプロケット下にもイラストで表記してあります。)

3. ガイドバーの長穴に、固定ボルトとガイドピンを通し、ガイドバーに2つある小穴の下側の穴に、チェーンテンションピンを合わせて取り付けてください。

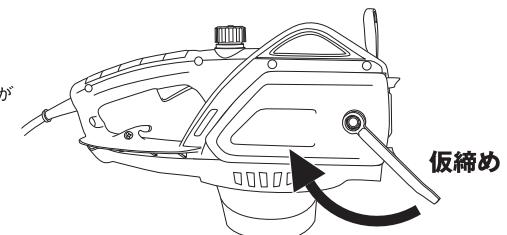


4. ガイドバーとソーチェーンが外れないよう保持しながら、スプロケットカバーを取り付けてください。(カバー後方の爪を本機穴に差し込み、固定ボルトをカバー取付穴に差し込んで取り付けてください。)

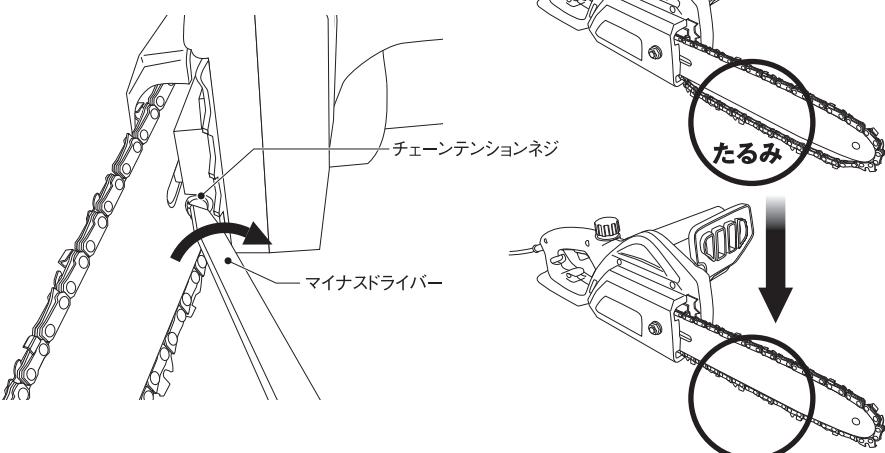


5. 固定ナットを仮締めしてください。

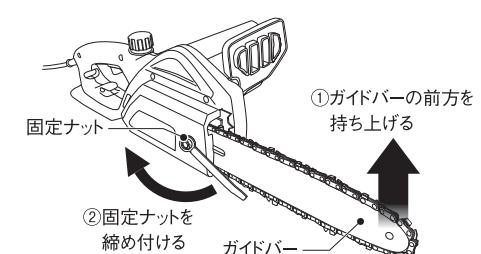
注：この時強く締め付けますと、ソーチェーンの張りの調整ができないなります。



6. ガイドバー底部のソーチェーンにたるみがなくなるまで、チェーンテンションネジを時計回りに回してください。



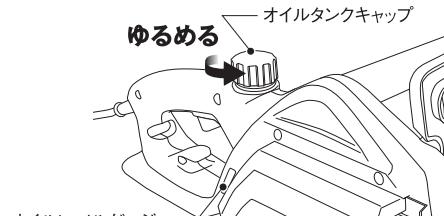
7.P11の『ソーチェーンの調整』を参考に、ソーチェーンの張りを調整した後、ガイドバー先端部を軽く持ち上げた状態で、固定ナットをしっかりと締め付けてください。



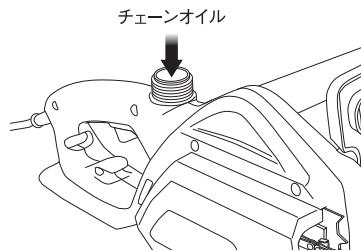
チェーンオイルについて

△注意 本製品には、チェーンオイルを給油しておりません。ご使用前には必ず、チェーンオイルをオイルタンクに給油してください。
●給油をせずに作動させますと故障の原因になります。

1. チェンソー本体を平らな場所へ置いてください。
2. オイルタンクキャップ周辺のゴミ、汚れをウエスなどで丁寧に取り除いてください。
3. オイルタンクキャップを、反時計回りに回して取り外してください。



4. 給油口より、チェーンオイルをタンク一杯になるまで入れてください。
注：ゴミや泥などがオイルタンクに入らないよう注意してください。



5. オイルタンクキャップを、時計回りに回して取り付けてください。

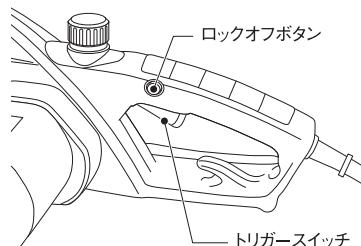
※オイルの容量は約80mlです。

※使用状況にもよりますが、チェンソーオイルが空になるまで約20分です。
オイルレベルゲージよりタンク残量を確認して、オイルが切れた状態で作業しないよう注意してください。

スイッチ操作方法

△警告 電源プラグをコンセントに差し込む前に必ず、スイッチがオフになっていることを確認してください。
●スイッチを入れたまま電源に接続しますと、事故の原因になります。

1. ロックオフボタンを押しながら、トリガースイッチを引きますと、チェンソーが作動します。
2. トリガースイッチを離しますと、停止します。



切断作業

△警告 ●事故を防ぐために、以下の事を再度確認してください。

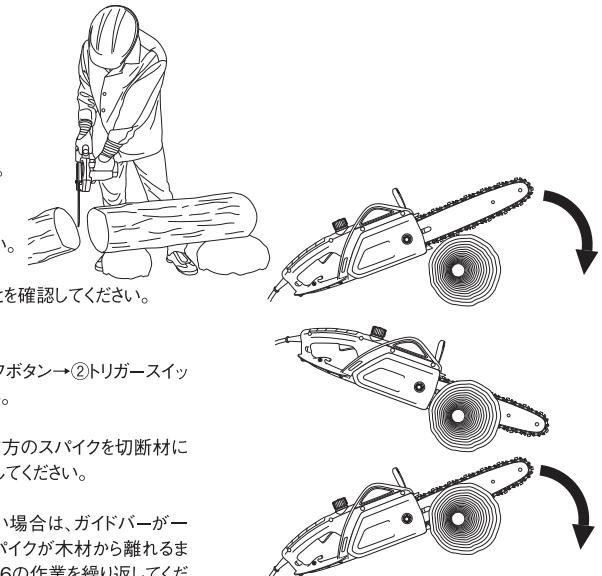
- 作業場に障害物がない。
- 周囲に人がいない。
- 保護メガネ、防音保護具、ヘルメット、皮手袋、安全靴等の保護具を着用していること。防護衣、スネ当などの保護具の着用をお勧めします。
- キックバック、チェンソーの反発力に注意してください。
- ガイドバーの先端部で切断しないでください。
- ガイドバー先端部を地面や枝に当てないでください。
- チェンソー本体を無理に押し付けないでください。

△注意 ●空運転させて、チェーンオイルが潤滑していることを確認してください。地面に置いた紙やダンボールなどにガイドバー先端を向けて作動し、オイルの出具合を確認してください。
正常にオイルが噴出しない場合は、オイル残量確認と、本体オイル噴出口、ガイドバーの点検・清掃(P19の「保守・点検」を参照)をしてください。

- ソーチェーンの張り具合を確認してください。
- ソーチェーンが鋭利であることを確認してください。

■基本的な切断方法

1. チェンソーを両手でしっかりと保持してください。
(フロントハンドルは左手、リアハンドルは右手)
2. チェンソー本体の左側に立つようにしてください。
(チェンソー本体を身体の右側に構える)
3. しっかりとした足場を確保して、作業をしてください。
4. 電源コードがチェンソー本体の後方部にあることを確認してください。
(ソーチェーンや木材から離してください。)
5. 木材からチェンソーを離した状態で、①ロックオフボタン→②トリガースイッチの順で押して、チェンソーを作動させてください。
6. 回転が十分に上がりしたら、チェンソー本体前方のスパイクを切断材に当てるテコの支点とし、ガイドバーを降ろして切断してください。
7. 太い丸太や木材など、一度の切断で終わらない場合は、ガイドバーが一旦下まで来ましたら、チェーンは動かしたままスパイクが木材から離れるまで少しづつチェンソーを後方へ引き、再度、上記6の作業を繰り返してください。



△注意 ●この時、チェンソーが木材から完全に離れることがないようにしてください。
●切断中、チェンソーを無理に押し付けないでください。
スパイクを使い、最小の力で作業をしてください。
●両腕が完全に伸びきった状態で作業をしないでください。
●やっと届くような場所にある木材を切ろうとしないでください。
●梯子の上で作業をしないでください。
●背伸びをしたり、肩より高い位置で切らないでください。
●切断中のソーチェーンの回転速度が一定ですと、最適な切断ができます。



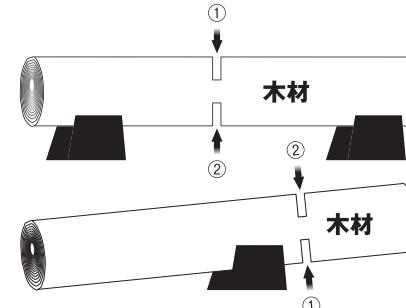
△警告 ●切り終わり時は特に注意してください。思いがけずチェンソーが軽くなり、足にケガをする危険があります。

■木材の切断方法

※木材はできるだけ地面から離して保持してください。地面に近すぎますと、作業中にガイドバー先端部が地面に接触する恐れがあります。

●木材の両側を支えている場合

最初に、丸太の上から直径の1/3を切った後、丸太の下から切断してください。キックバックやガイドバーが木に挟まれたり、地面に接触する危険を軽減します。



●木材の片側を支えている場合

最初に、丸太の下から直径の1/3を切った後、丸太の上から切断してください。丸太が裂けるのを軽減し、ガイドバーが切り口に挟まれる危険を軽減します。

■伐木作業(樹木を切り倒す)



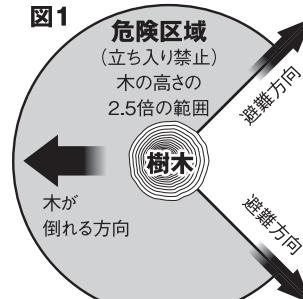
●落ちてくる枝などでケガをしないよう、必ずヘルメットを着用してください。

●ガイドバーの長さより直径が小さい木を切断してください。

●特別なトレーニングをした作業者だけが伐木や枝払い作業をできます。チェンソーを使いなれていない作業者の方は、伐木や枝払い作業をしないでください。

1. 作業場の確保

切り倒す木の付近に作業者以外の人がいないことを確認してください。樹木の高さの2.5倍の距離の範囲は危険区域として、作業者以外は立ち入らないようにしてください。(図1)作業や退避の支障になるような障害物を取り除いてください。



2. 樹木の状況確認

幹の傾き、枝の伸び、根元状況、風の状況、周囲の状況からどの方向に倒れやすいかを考え、切り倒す方向を決めてください。斜面に樹木がある場合は、傾斜に対して横方向または斜め下に切り倒す方向を決めてください。

3. 樹木の重量バランスの調整

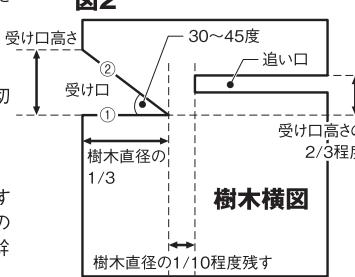
倒す方向に倒れやすいように反対側の枝を切り落とす等して、樹木の重量バランスを調整してください。また、不要な枝を切り落とすことで他の木に引っかかる为了避免、スムーズに倒れるようにしてください。

4. 退避方向、経路、退避場所の確認

樹木が倒れる方向の斜め後ろで、落下物や飛散物が少ない場所を探してください。切り倒す樹木から3m以上離れた立ち木の陰を探して、実際に歩いて確認してください。

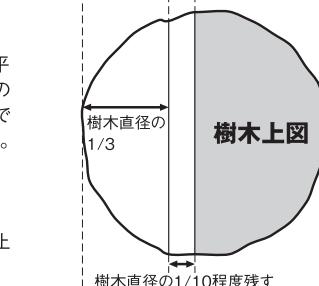
5. チェンソーで受け口を作る

図2の①水平→②斜めの順序で、樹木の直径の1/3の深さの切り込みを切り倒す方向に作ってください。水平切りと斜め切りの線が合うようにしてください。樹木の空洞部分が出来ることで、受け口側に樹木の自重が偏ります。また、空洞部分が幹の支えをなくすことで倒れやすくなります。



6. チェンソーで追い口を作る

受け口の反対方向から、受け口高さの2/3程度の位置に、受け口の水平部分と平行に追い口を作ってください。追い口の深さは受け口の最深部より手前に、樹木の直径の1/10程度残るようにしてください。※追い口を切り進めると、木の重みでガイドバーが挟まることがありますので、早めに“くさび”を打って作業してください。“くさび”は金属製ではなく、木製や樹脂製のものをご使用ください。



7. 退避

追い口の深さが樹木の中心を越えますと、木が倒れ始めますので、切断作業を止め、チェンソーをその場に置いて退避してください。

■枝払い作業(切り倒した木から枝を取り除く)

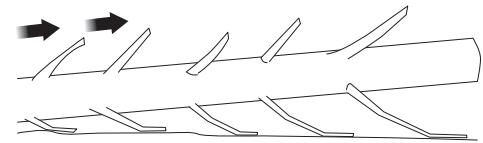
※枝払いに際しては、地面から離して樹木を支えるよう、樹木の下方にある太くて大きな枝は残してください。

●図のように樹木の根元側から、先端に向かって切削してください。

●キックバックが起きやすいガイドバーの先端部ではなく、根元側を使って切るようにしてください。
※ガイドバーが地面に当たらないよう注意してください。

●樹木の側面にある枝は、樹木を挟んで反対側に立って作業してください。

●長い枝や太い枝、押さえられて弓状にたわんでいる枝は、一度で切らず半分程度で一度切り、なたや鋸で切り目を入れて反発を弱めてから切るようにしてください。



■玉切り作業(切り倒した木を切る)



●足場をしっかりと確保し、両足へ均等に荷重をかけて立ってください。

●傾斜地で作業をされる場合は必ず、木よりも山側に立ってください。

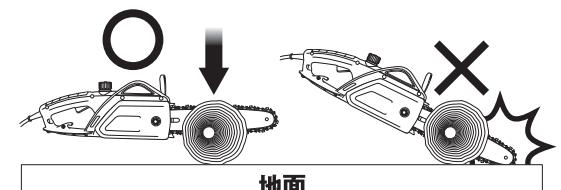
●切り終わり直後にチェンソーの操作を失い、バランスを崩さないよう切り終わり直前は、チェンソーを押し付ける力を弱めてください。



●できれば、切り倒した木は、枝や丸太、くさび等を使って、木を地面から浮かせて支えてください。
●木の置かれている状況によって切り方が異なります。

1. 木が地面に置かれている場合

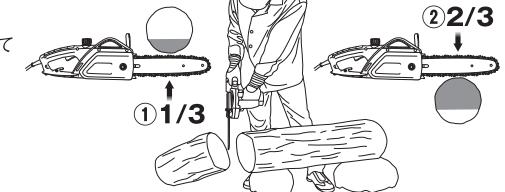
木の上から真っすぐに切り下ろしてください。
ガイドバー先端が地面に当たらないよう注意してください。



地面

2. 木の片端が支えられている場合

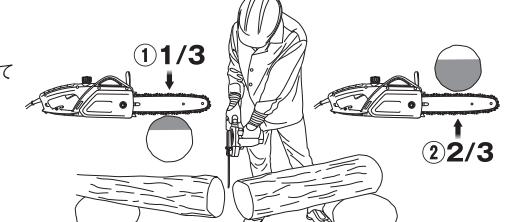
①木の下側から、直径の1/3程度を切ってください。
②最初に切った切り込み位置に合うように、木の上側から切ってください。



地面

3. 木の両端が支えられている場合

①木の上側から、直径の1/3程度を切ってください。
②最初に切った切り込み位置に合うように、木の下側から切ってください。



地面

保守・点検

警告 ●清掃、点検、整備の際は必ず、本機のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

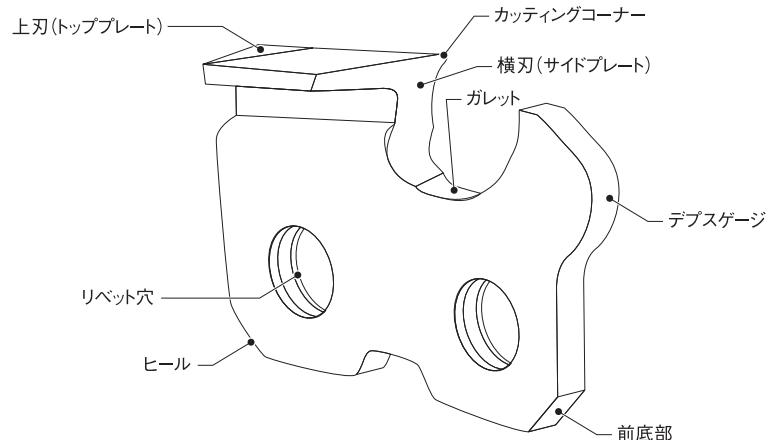
ソーチェーンのメンテナンス

ソーチェーンの切味が低下しますと、切りくずが小さくなります。カッター刃の目立て、交換などのメンテナンスを行ってください。

警告 ●ソーチェーンのメンテナンスを怠りますと、ガイドバー・ドライブスプロケットが早く磨耗します。
●ソーチェーンのメンテナンスを怠りますと、キックバックの発生やソーチェーンのガイドバーからの飛び出し、ソーチェーンの破損により事故の原因になります。

注意 ●ソーチェーンの張りの調整を適切に行った後に、作業を開始してください。

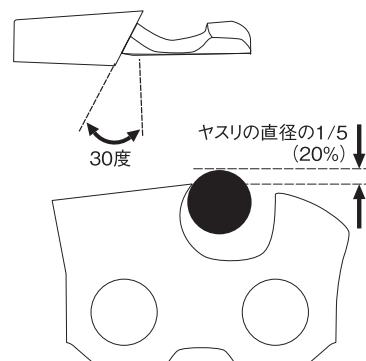
■カッター各部の名称



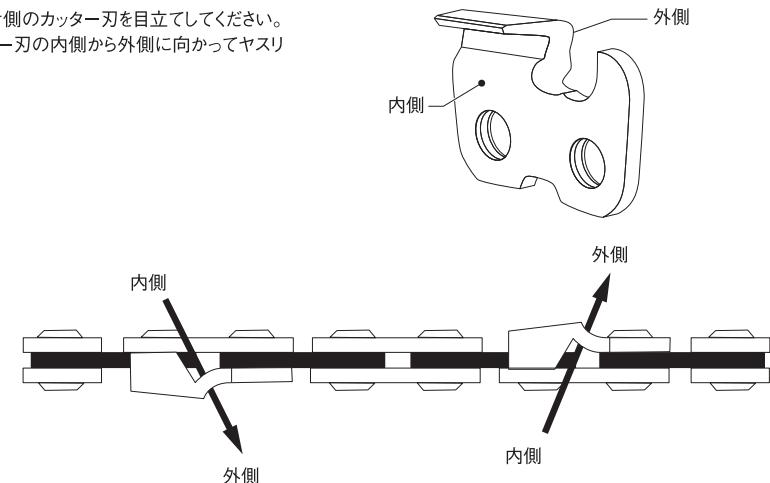
■カッター刃の目立て方法

●丸ヤスリ(本製品使用のソーチェーンは直径φ4.0mm)を、ガイドバーに対して30度の角度で、カッター刃の上刃よりヤスリの直径の1/5(直径4.0mmだと約0.8mm)高くなるように当ててください。

上刃目立て角度



●最初にソーチェーンの片側のカッター刃を目立ててください。ヤスリを水平にし、カッター刃の内側から外側に向かってヤスリをかけてください。



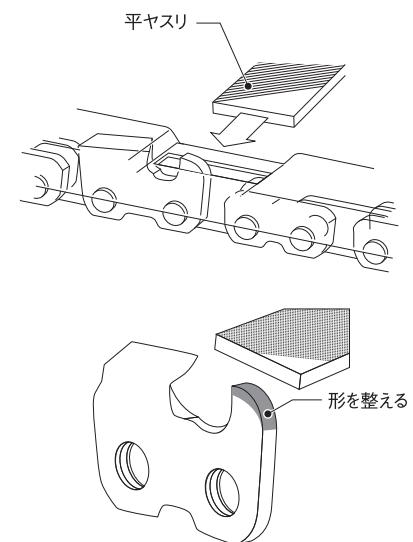
■デプスゲージの調整方法

●丸ヤスリでカッター刃の目立てを3~4回行うごとに一回、デプスゲージの調整を行ってください。市販のデプスゲージジョインタ(0.65mm)を使用してください。

●デプスゲージジョインタをソーチェーンの真上に置きますと、一つのデプスゲージがデプスゲージジョインタのスロットから突き出ます。

●スロットの上から突き出た部分を、平ヤスリを使ってデプスゲージジョインタ上部まで削ってください。

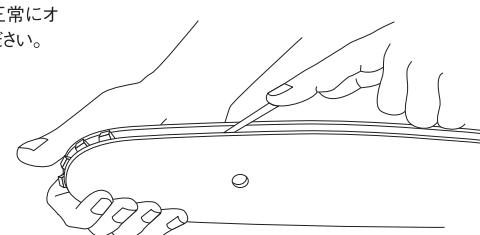
●高さ調整が終わりましたら、デプスゲージの形、角が丸みを帶び、傾斜がついた形に整えてください。



目立て作業が終わりましたら、ソーチェーンをオイルに浸して切削粉を洗い落としてください。

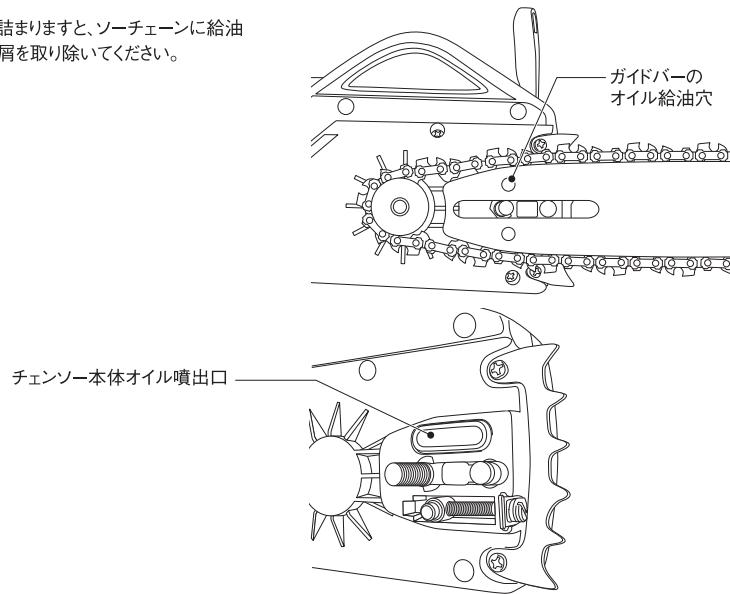
ガイドバーの清掃

ガイドバーに木屑やごみが詰まると、ソーチェーンに正常にオイルが潤滑しなくなりますので、こまめに確認、清掃してください。
※ガイドバーは上下逆さにして再使用できます。



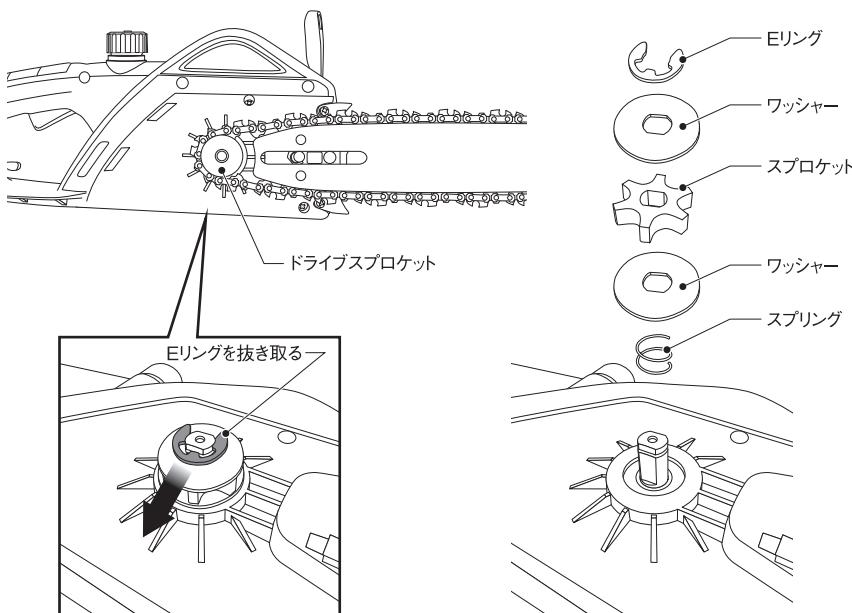
オイル給油口の清掃

オイル給油口・噴出口が木屑で詰まると、ソーチェーンに給油されなくなりますので、こまめに木屑を取り除いてください。



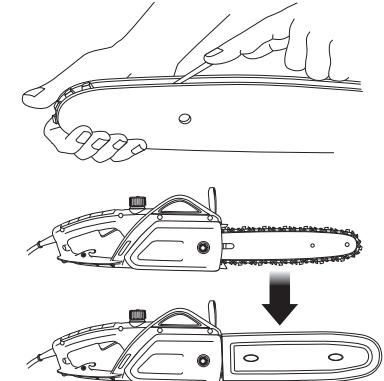
ドライブスプロケットの交換

ドライブスプロケットが著しく磨耗していると、ソーチェーンやガイドバーがすぐに損傷しますので、ソーチェーンを交換するたびに確認、必要であれば交換をお願いします。



保管方法

- ソーチェーン、ガイドバーに付着した切りくずを丁寧に取り除いてください。
- スプロケットカバーを取り外して、付着した切りくず、ゴミを取り除いてください。
- スプロケットカバーを取り付けて、電源プラグをコンセントに接続し、スイッチを入れて作動させて、ソーチェーン、ガイドバーにチェンソー油を潤滑させてください。
- ソーチェーンカバーを取り付けてください。
- オイルを抜き取って、オイルタンク内を空にしてください。
- 湿気が少なく、子供の手の届かない、安定した場所へ保管してください。



故障と修理

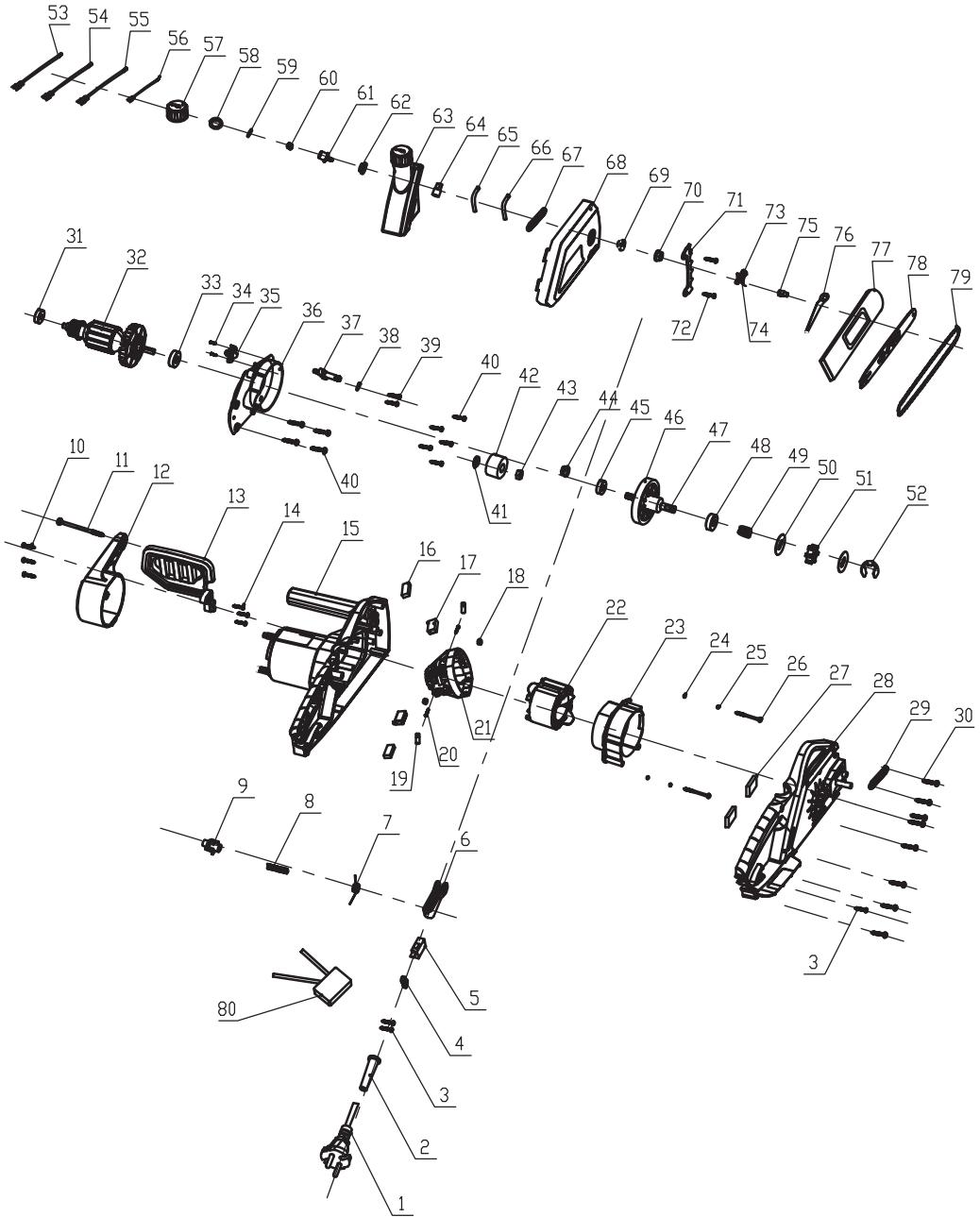
故障内容と対処方法

使用中に機械の調子が悪かったり、異常を感じましたらすぐに機体のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、以下の点をご確認ください。

- 1.「取扱説明書」を読み直して、使用方法に誤りがないか。
- 2.下記の代表的な症状が当てはまるか確かめる。

症状	原因	対処方法
●スイッチを“ON”にしても動かない。	●電源プラグがコンセントから抜けている。 ●コード断線。	●電源プラグをコンセントに差し込む。 ●コード交換。(修理依頼)
●チェンソーが途切れ途切れに動く。	●延長コードの損傷。 ●配線接触不良。 ●内部配線損傷。 ●スイッチ故障。	●延長コードの確認。 ●点検・修理依頼。 ●点検・修理依頼。 ●点検・修理依頼。
●チェーンへの給油不足。	●オイルタンク内オイル不足。 ●ガイドバー側オイル給油穴の目詰まり。 ●チェンソー本体側オイル噴出口目詰まり。 ●オイル給油経路目詰まり。	●給油。 ●ガイドバー清掃。 ●チェンソー本体清掃。(スプロケットカバー内部) ●分解清掃。(修理依頼)
●ソーチェーン、ガイドバー焼き付き。	●給油不足。 ●ソーチェーン張り過ぎ。 ●ソーチェーンの切味低下。	●上記“チェーンへの給油不足”参照 ●ソーチェーンの張り調整 ●ソーチェーン目立て、交換
●チェンソー本機が大きく振動したり、安定せず正しく切断ができない。	●ソーチェーンの張り不足。 ●ソーチェーンの切味低下。 ●ソーチェーンの摩耗。 ●ソーチェーン取り付け方向間違い。	●ソーチェーンの張り調整。 ●ソーチェーン目立て、交換。 ●ソーチェーン交換。 ●ソーチェーン取り付け方向確認、修正。

分解図・部品表



番号	部品名	規格	数量
1	電源コード	VCTF1.25mm ² ×2	1
2	コードキャップ		1
3	ネジ	4×12	3
4	コードクランプ		1
5	スイッチ		1
6	スイッチボタン		1
7	スプリング		1
8	スプリング		1
9	ロックボタン		1
10	ネジ	4×16	3
11	ネジ	4×145	1
12	リアカバー		1
13	プロテクトプレート		1
14	ネジ	4×14	3
15	ハウジング(左)		1
16	カーボンブラシ		2
17	ブラシスリーブ		2
18	ナット	M4	2
19	ブラシホルダー		2
20	ネジ	3×8	2
21	リアブラケット		1
22	ステータ		1
23	シールド		1
24	ワッシャー	φ4	2
25	スプリングワッシャー	φ4	2
26	ネジ	4×65	2
27	スポンジ		2
28	ハウジング(右)		1
29	オイルシール		1
30	ネジ	4×16	8
31	ベアリング	608Z	1
32	ローター		1
33	ベアリング	6000Z	1
34	ネジ	3×8	2
35	ポンプ		1
36	サポートプレート		1
37	継手管		1
38	Oリング		1
39	ネジ	4×14	2
40	ネジ	4×14	9

番号	部品名	規格	数量
41	ギアスリーブ		1
42	ギア(小)		1
43	六角ナット	M8	1
44	ゆるみ止めナット	M8	1
45	ベアリング	608Z	1
46	ギア(大)		1
47	スピンドル		1
48	ベアリング	6000Z	1
49	スプリング		1
50	ワッシャー		2
51	スプロケット	SMF5030	1
52	Eリング		1
53	配線1		1
54	配線2		1
55	配線3		1
56	配線4		1
57	オイルタンクキャップ		1
58	オイルタンクワッシャー		1
59	オイルタンクプラグ		1
60	スプロンフィルター		1
61	オイルタンクコネクター		1
62	シールリング		1
63	オイルシール		1
64	吸気弁		1
65	オイルチューブ2		1
66	オイルチューブ1		1
67	オイルシール		1
68	カバー		1
69	インサート		1
70	六角ナット	13mm	1
71	スパイク		1
72	ネジ	4×14	2
73	調整ボルト		1
74	固定板		1
75	テンションピン		1
76	スパナ		1
77	ソーチェーンカバー		1
78	ガイドバー		1
79	ソーチェーン		1
80	コンデンサ		1